

令和3年度
盛岡医療福祉スポーツ専門学校
自己点検・評価委員会結果報告書

令和3年3月

令和3年度自己点検・評価結果報告について

ここに学校法人龍澤学館盛岡医療福祉スポーツ専門学校の自己点検・評価結果を公表いたします

令和3年3月31日

学校法人 龍澤学館
理事長 龍澤 正美

令和3年度 盛岡医療福祉スポーツ専門学校 自己点検・自己評価委員会結果報告書

1. 学校の教育目標

- 1 専門分野の知識と技術を正確に習得する
- 2 社会人としてのマナーを体得・実践する
- 3 生命に対する尊厳を養い、真の優しさを身につける

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 1 多職種連携授業の本格的実施
- 2 退学者(率)の防止と減少について、継続して取り組む。退学率3%以下を目標とする。
- 3 卒業生を対象としたセミナー、意見交換会の全学科実施に向けて継続して取り組む。
- 4 業界の経営者団体、職能団体等との連携をより深め、学校全体が社会資源の一機関として地域の医療・福祉に寄与する。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

※適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1 切：1

※黄色のセルは、前回評価から変わったことを示す。

(1) 教育理念・目標

	評価項目	自己点検・評価結果※	
		今年	昨年
1	学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	4
2	学校における職業教育の特色は何か	4	4
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	4
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3	4
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3	4
課題	学校の理念・人材育成像、目標の教室への掲示、それに基づいた学生個々人の目標設定などの周知が徹底されていなかった。さらに、コロナ感染防止対策として行動制限せざるを得ない状況が続き、本校の魅力である校外活動を通じた学びがほぼできなかったことも要因として考えられる。		
改善策	教育目標の説明・掲示を再徹底するとともに、スキルマップを用いて学びを可視化していく。さらに、学生の学習意義や資格取得意欲の向上につなげるため、校外活動においても可能な限り復活させる。また、保護者等へ向けた季刊紙の発行など本校教育活動の周知を図る。		

(2) 学校運営

	評価項目	自己点検・評価結果※	
		今年	昨年
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	4
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4	4
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	4
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	4
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3	3
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3
課題	新型コロナウイルス感染予防対策の一環で、通信教育部同様に昼間部においても、ハイブリット型でのオンライン授業も実施することができた。また、Microsoftアカウントを非常勤講師にも発行し、Teamsを活用したオンライン授業、有事の一斉連絡を可能とするなど業務効率化を目指すことができた。しかしながら、パソコンの得手不得手もあり、オンライン化は時間を要している。		
改善策	毎月職員会議後の研修やグループ全体の研修を通じて、教育の質の向上を図っている様子を引き続きSNSにて発信する。オンライン化については、携帯電話やパソコンの設定から補助を必要とする非常勤講師が多いため、勉強会を設けオンライン化の協力を仰いでいく。		

(3) 教育活動

	評価項目	自己点検・評価結果※	
		今年	昨年
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	4
2	教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	4
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	4
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	3
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	4
課題	ルーブリック評価をもとに、実技や演習といった科目についても評価基準を作成できたが、非常勤講師担当科目の評価については、今後標準（基準）を設けるなどの取り組みが必要となっている。精神保健福祉士育成や食育に関わる教員の本務確保ができたため、より質の高い教育活動に継続して取り組んでいく。		
改善策	リアクションペーパーを継続し一定の効果を得ている。演習・実技といったペーパーテスト以外の評価基準に関しては、非常勤講師担当科目においても作成するよう進めていく。		

(4) 学修成果

	評価項目	自己点検・評価結果※	
		今年	昨年
1	就職率の向上が図られているか	4	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4	4
3	退学率の低減が図られているか	2	2
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2	3
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	4
課題	退学者防止については、本校を会場とした相談室開室を継続し、カウンセラーの他スクールソーシャルワーカーも配置するなど強化してきた。しかし、理由は様々あり、毎年様々取り組んではいるものの、退学者を減らすことができなかったことは真摯に受け止めている。就職支援については、就職率はもとより企業との人材マッチングを高めるために、求められる人材等、企業との情報交換をより強化しなければならない。卒業生フォローについては、卒業後の動向を把握し、必要に応じて卒業生間での交流ができるよう、サイトを立ち上げるなど一歩踏み込んだ対策が必要である。		
改善策	学校ホームページを活用し、卒業生専用の交流の場を設けていく。さらに、卒業生に対してアンケート調査等を行い、キャリア形成の一助となる研修を企画するなど、卒業生のニーズを把握するよう努めていきたい。退学者防止については、相談室の活用を促すため、教員に対しての研修実施済の状況。相談機関と連携を図り、学生生活がよりよいものとなるよう取り組んでいく。		

(5) 学生支援

	評価項目	自己点検・評価結果※	
		今年	昨年
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4	4
7	保護者と適切に連携しているか	4	4
8	卒業生への支援体制はあるか	3	3
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	4
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	4
課題	経済的支援体制については、引き続きグループ全体での経済支援を加え充実させている。保護者との連携については、コロナに関わる休校や行動指針といった連絡を書面を通じて積極的に発信してきた。今後、学校へ対する理解を深めるきっかけとして保護者向けのお便りを発行するなど、より工夫が必要と考える。通信教育部へは、変わらず卒業生の受講があり、卒後教育の一環として機能している。一方、卒業生へのフォローアップの充実といった課題も依然として残っている。		
改善策	昨年度に引き続き、高等教育無償化認定校として一層充実した経済支援を展開。また、給付型の奨学金を活用する学生も増えているため、適切な利用について周知徹底している。本校教育活動をSNSやお便りを通じて、学生の日常のリアルを発信していく。通信教育部の事業エリアと募集定員を拡大、国家試験対策講座の一般への開放などを進め、幅広い地域人材の学び直しの場を提供する。		

(6) 教育環境

	評価項目	自己点検・評価結果※	
		今年	昨年
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4
3	防災に対する体制は整備されているか	4	4
課題	設置基準に従った十分な整備を行っている。また、教員が各自タブレットを所有し、ICTを促進した。一方、経年劣化による改修が必要な部分がある。また、防災については、個々人の意識向上も含め、啓もう活動にさらなる改善の余地がある。		
改善策	学生の多様な学び方を促進するため、学生専用のインターネット回線など、主にICT環境の一層の促進を図っていききたい。防災をはじめとする安全環境について、経年劣化による修繕を要する箇所については段階的に対応し、安全や災害に対する啓蒙活動も継続して行う。		

(7) 学生の受入れ募集

	評価項目	自己点検・評価結果※	
		今年	昨年
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	4
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4	4
課題	広報および教務との緊密な連携を図ってきたが、コロナ禍で対面での学生募集活動に制約があったことも影響してか、入学者の減少は回避できなかった。一方で、オンライン授業もハイブリッド形式で実施できた経験を活かし、オンラインでの学生募集活動も実施することができた。職域の魅力発信と、本校で学ぶメリットの「見える化」と「伝え方の工夫」が引き続き必要である。		
改善策	健康・福祉に係る総合的な学びの場であること、高卒者・社会人と幅広く本校で学んでいること等の強みを、競合との差別化として一層強く打ち出していく。また、オンライン授業体制を組むことで、学びを止めずに継続できた実績を募集活動を通じて発信していく。		

(8) 財務

	評価項目	自己点検・評価結果※	
		今年	昨年
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	4
課題	—		
改善策	法人本部で適正に管理・実行しており、財務情報についてはすでにホームページで情報公開している。		

(9) 法令等の遵守

	評価項目	自己点検・評価結果※	
		今年	昨年
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	4
4	自己評価結果を公開しているか	4	4
課題	法令等適切に遵守し、運営を行っている。個人情報保護については継続して教職員の意識向上を怠りなく徹底していく。		
改善策	第三者評価の実施に向け、継続して仕組み作りをグループ全体で構築していく。		

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	自己点検・評価結果※	
		今年	昨年
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	4
課題	本校の強みである、地域貢献、ボランティアは、新型コロナウイルス感染予防のため回数が激減した。また、被災地活動についても支援ニーズを把握し直す必要があるが継続して関わる方法を模索していく。各種事業委託については、介護福祉学科およびこども未来学科による離職者訓練等、継続受託している。		
改善策	被災地はもとより、本校教育内容に準じた地域社会における多様な生活ニーズへの取り組みを継続しながら、委託事業も含め取り組みを行なっていく。		

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

学校関係者評価委員会、及び、教育課程編成委員会における提言を教育活動の改善につなげる仕組みは、教育の質の向上につながってきている。また、学生授業評価、ルーブリック評価を継続して行い、学生の状況をより的確に把握し、満足度の高い教育活動が継続できている。

地域貢献活動は、回数が激減したことをきっかけに、地域に貢献できる機関として成長するため、より地域や関連団体との連携を具体的に提示しながら強化していく必要がある。効率的な事務処理システムの構築、経年劣化による施設の改修等は順次進めていくという課題への対応は、継続して必要である。

